

第9回メタンハイドレート総合シンポジウム プログラム (2017/10/26~10/27)
The 9th Comprehensive Symposium on Methane Hydrate (CSMH-9)

10月11日

10月26日(木) A 会場		10月26日(木) B 会場		
講演は13:30からです		講演は13:30からです		
<基礎物性-1> 座長:菅原 武(阪大院基礎工)		<生産・開発-1> 座長:坂本靖英(産総研MHPU)		
A-1	海底・湖底環境下におけるメタンハイドレートの水素同位体分別過程解明を目指した実験的研究 ○小関貴弘、八久保晶弘、菊池優樹(北見工大)、竹谷 敏(産総研・物質計測標準研究部門)	13:30-13:50	B-1	メタンハイドレートの開発におけるガスの再ハイドレート化による流動阻害の数値計算 ○富士達哉、Georgios Fytianos、大山裕之、佐藤 徹(東大新領域)
A-2	メタン・エタン系混合ガスハイドレートのエタン水素同位体分別 ○松田純平、八久保晶弘、小関貴弘(北見工大)、竹谷 敏(産総研・物質計測標準研究部門)	13:50-14:10	B-2	メタンハイドレート坑井配管内における流動解析 ○森田洋充、清野文雄、山本佳孝(産総研MHPU)
A-3	四級ホスホニウムブロミドのセミクラスレートハイドレート特性に及ぼすアルキル鎖長の影響 ○嶋田 仁、土田裕介、網島克彦(和歌山高専)、菅原 武(阪大院基礎工)	14:10-14:30	B-3	メタンハイドレート資源開発における坑井内流動数値解析 ○廣林智史、浅野 諭、岸 圭吾、林原正起(東海大海洋)、清野文雄、天満則夫(産総研MHPU)、清水賀之(東海大海洋)
A-4	CO ₂ を利用するメタンハイドレートの生産増進法における凝固点降下を利用した適用条件の低温側への拡大可能性について ○池川洋二郎、木村治夫(電力中央研究所)	14:30-14:50	B-4	メタンハイドレート分解・生産挙動予測シミュレータと岩石力学的挙動予測シミュレータの統合化に関する研究 ○岩田滋基、奥田周一(早大院創造理工)、長澤 亮(アブダビ石油)、栗原正典(早大創造理工)、長尾二郎、天満則夫(産総研MHPU)、赤嶺耕也(JOE)、瀧口 晃(西日本技術開発)
A-5	TBAB ハイドレートの CO ₂ 包蔵性および選択性 ○橋本秀紀、山口 勉、尾関博之(東邦大)、室町実大(産総研MHPU)	14:50-15:10	B-5	簡易的な1次元の岩盤変形に対する解析解を利用した流動シミュレータと岩石力学シミュレータの統合プログラムの開発 ○澤田 賢、奥田周一、岩田滋基、栗原正典(早稲田大)
A-6	薄型ガラスマイクロモデルを用いたガスハイドレート結晶その場観察装置の開発 ○村岡道弘、山本佳孝(産総研MHPU)	15:10-15:30	B-6	HIGUMAの弾性波観測装置を利用したMH分解過程のトモグラフィ解析 横山幸也、齋藤秀樹、○小野正樹、干野 真、中山栄樹(応用地質)、今野義浩(産総研MHPU)
休 憩				
<機能活用-1> 座長:大島 基(産総研MHPU)		<生産・開発-2> 座長:天満則夫(産総研MHPU)		
A-7	X線CTによるメタンハイドレートの可視化 ○竹谷 敏(産総研・物質計測標準研究部門)、米山明男(九州シンクロトン光研究センター)、兵藤一行(高エネ研)、武田 徹(北里大)	15:50-16:10	B-7	円筒型ガス生産模型実験装置によるCO ₂ ハイドレート含有砂のガス分解実験 ○梶山慎太郎、兵動正幸、中田幸男、吉本憲正(山口大)
A-8	流動層によるCO ₂ ハイドレート生成効率向上に関する研究 ○木下絵理依、平林紳一郎(東大新領域)、須々木尚子、山本佳孝、(産総研MHPU)	16:10-16:30	B-8	メタンハイドレート胚砂の加熱時分解挙動 ○藤田一輝、吉本憲正(山口大)、朝倉さや香(応用地質)、梶山慎太郎、中田幸男、兵動正幸(山口大)
A-9	電子顕微鏡による臭化テトラブチルアンモニウム過冷却水溶液中の構造観察 ○菅原 武(阪大院基礎工)、町田博宣(パナソニック)、平沢 泉(早大院理工)	16:30-16:50	B-9	「表層型MH回収技術開発に関わる調査研究」に係る講演を予定
<地盤工学-1> 座長:皆川秀紀(産総研MHPU)				
A-10	未固結砂層のフラクチャリング室内実験が示す特異なフラクチャー形態とその考察 ○伊藤高敏、清水浩之(東北大流体研)、天満則夫(産総研MHPU)	16:50-17:10	B-10	「表層型MH回収技術開発に関わる調査研究」に係る講演を予定
A-11	Research on the failure mechanism of methane hydrate-bearing specimen by two-dimensional discrete element method Yujing Jiang, ○Bin Gong(Nagasaki University)	17:10-17:30	B-11	「表層型MH回収技術開発に関わる調査研究」に係る講演を予定
A-12	海底地盤における重力式コーン貫入試験の適用性 ○渋谷義顕、山下 聡、八久保晶弘、小西正朗、坂上寛敏、南 尚嗣(北見工大)、仁科健二(道総研地質研)、美坂 正(道総研稚内水試)、板谷和彦(道総研釧路水試)	17:30-17:50	B-12	「表層型MH回収技術開発に関わる調査研究」に係る講演を予定
18:00-20:00 交流会 つくばセンター中央第1事業所厚生センター (1F食堂) 挨拶: 小林哲彦(産総研 理事、エネルギー・環境領域領域長)				

10月27日(金) A 会場		10月27日(金) B 会場	
＜地質・地化学-1＞ 座長:木田真人(産総研MHPU)		＜生産・開発-3＞ 座長:天満則夫(産総研MHPU)	
A-13	オホーツク海網走沖のガス湧出域におけるROV調査概要 ○山下 聡、八久保晶弘、小西正朗、坂上寛敏、丹羽達哉(北見工大)、仁科健二(道総研地質研)、南 尚嗣(北見工大)	10:30-10:50	B-13 「表層型MH回収技術開発に関わる調査研究」に係る講演を予定
A-14	オホーツク海網走沖におけるメタンブルームの湧出量評価と採取方法の検討 ○丹羽達哉、山下 聡(北見工大)	10:50-11:10	B-14 「表層型MH回収技術開発に関わる調査研究」に係る講演を予定
A-15	オホーツク海枝幸沖および網走沖のガスブルームに関する地球化学的特徴 ○八久保晶弘、柿崎圭人、松田純平、吉野雄作、百武欣二、小西正朗、坂上寛敏、南 尚嗣、山下 聡(北見工大)、仁科健二(道総研地質研)、美坂 正(道総研稚内水試)、板谷和彦(道総研釧路水試)	11:10-11:30	B-15 「表層型MH回収技術開発に関わる調査研究」に係る講演を予定
A-16	バイカル湖南湖盆に産する天然ガスハイドレートの特徴について ○八久保晶弘、柿崎圭人、松田純平、菊池優樹、坂上寛敏、南 尚嗣、山下 聡(北見工大)、Oleg Khlystov(ロシア陸水学研)、Gennadiy Kalmychkov(ロシア地球化学研)、Marc De Batist(ゼント大)	11:30-11:50	B-16 表層型メタンハイドレートの有無が微生物固化処理土の強度特性に与える影響に関する研究 ○木谷龍平、畠 俊郎(富山県立大環境)、米田 純(産総研MHPU)、山本晃司(JOGMEC)
お昼休み			
＜地質・地化学-2＞ 座長:梶山慎太郎(山口大)		＜生産・開発-4＞ 座長:米田 純(産総研MHPU)	
A-17	Gas Hydrate Characterization from a 3D Seismic Dataset in the Eastern Deepwater Gulf of Mexico ○D.McConnell (Fugro)	13:10-13:30	B-17 減圧法によるMH生産時を想定した微生物固化による出砂対策としての有効性評価に関する検討 ○林 祐斗、畠 俊郎(富山県立大環境)、米田 純(産総研MHPU)、山本晃司(JOGMEC)
＜地盤工学-2＞ 座長:梶山慎太郎(山口大)			
A-18	繰返し一面せん断試験から求めた透水係数に及ぼすせん断域の影響 ○石田周平、小宮勇人、本田美智子、西尾伸也(日大)	13:30-13:50	B-18 凝集効果を考慮した砂層中の細粒砂蓄積に関する研究 宮田凱斗、○平林紳一郎、大山裕之(東大新領域)、山本佳孝(産総研MHPU)
A-19	繰返し一面せん断試験におけるせん断域の生成形態 ○小宮勇人、石田周平、本田美智子、西尾伸也(日大)	13:50-14:10	B-19 砂泥互層内での細粒成分の成因に関する検討 ○大山裕之、荻野誠也、吉田毅郎、George Fytianos、佐藤徹(東大新領域)
A-20	繰返し一面せん断試験におけるせん断域のせん断波速度の評価 ○本田美智子、石田周平、小宮勇人、西尾伸也(日大)	14:10-14:30	B-20 間隙中のガスハイドレート存在形態を考慮した地盤強度変形特性のモデル化に関する研究 ○岩井裕正、川崎貴也(名工大)